

躍動

市川市立南行徳中学校 学校だより No. 8

平成30年9月25日 校長 小谷野 信

〒272-0138 市川市南行徳 2-2-2 TEL047-397-5910 FAX047-397-5911
URL:<http://www.sgyoutoku-tyu.ichikawa-school.ed.jp/welcome.html>

学校評価の結果について

今年、6月末から7月にかけて実施した学校評価の結果をお知らせいたします。子どもたちの学習等の状況では、「授業がわかりやすい」、「興味を持って学習に取り組んでいる」、「家庭学習の習慣が身についている」、「自分の役割に責任を持って取り組んでいる」の項目では、昨年度の同時期に比べ高い評価をいただきました。また、学校の生活においては、「オレンジキャンペーンの取り組み」、「学習規律の確立」が高い評価をいただきました。

しかしながら、子どもたちの日常生活で、「すすんで体を動かす」、「規則正しい生活習慣が身についている」は、昨年度に比べて低い値となっており、本校生徒の課題と感じております。

全職員でこの結果を真摯に受けとめ、よりよい教育活動となるよう取り組んでまいります。



新部長・キャプテン になって☆

部活動は、夏の大会やコンクールが終わり、3年生から2年生へとバトンが渡されて新しい目標に向かってスタートしています。新しく部長・キャプテンになった皆さんに意気込みや抱負を書いてもらいました。

卓球部 山本 優くん(2年5組)

卓球部の今年の目標は、「県大会出場」です。高校1年生の先輩と中学3年生の先輩方ができなかったことを新チームみんなで団結し、県大会に行きたいと思えます。県大会に行くため、卓球部全員が練習をサボらず一生懸命取り組んでいきたいと思えます。

バドミントン部 原田 湊玖くん(2年4組)

バドミントン部の目標は、個人での「ベスト4」です。引退した先輩方も目標にしていた「県大会出場」も目指して、日々頑張っています。体育館でシャトルを打てる時間も限られているため、1日1日の練習に集中して取り組んでいき、大会で良い結果を出せる実力をつけていけるように頑張ります。

サッカー部 清水 優翔くん(2年5組)

僕達、サッカー部の目標は、全国制覇です。全国制覇をするために、普段の練習からしっかり声を出し、一人一人高い意識を持って練習しています。一つ一つの大会や試合を大事に、まずは新人戦で自信をつけていきたいです。

美術部 渡部 亜利さん(2年7組)

私たち美術部は、一人一人がより良い作品が出来るよう、自分の課題に向きあって制作しています。基本である挨拶や返事、マナーを大切に部員全員が取り組める部活にしたいと思っています。美術部全体でがんばっていきます。よろしくお願いします。

学校評価アンケート結果(保護者)7月 昨年度との比較		実現度		前年比
質問項目	年度	肯定的割合	(肯定的割合)	
			前年比	(前年比)
1 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	H29	58%	8%	
	H30	66%		
2 お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	H29	40%	13%	
	H30	53%		
3 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	H29	47%	11%	
	H30	58%		
4 お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	H29	74%	-1%	
	H30	73%		
5 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	H29	68%	8%	
	H30	76%		
6 お子さんは、誰とも優しく関わっている。	H29	78%	4%	
	H30	82%		
7 お子さんは、すすんで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	H29	62%	-4%	
	H30	58%		
8 お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。	H29	77%	-1%	
	H30	76%		
9 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身についている。	H29	58%	-4%	
	H30	54%		
10 学校は、たより等で学校の様子を十分に保護者に伝えている。	H29	71%	1%	
	H30	72%		
11 学校は、保護者や地域の方が、学校行事等に参加しやすいように努めている。	H29	71%	0%	
	H30	71%		
12 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	H29	67%	5%	
	H30	72%		
13 学校は、子どもの安全確保に努めている。	H29	74%	5%	
	H30	79%		
14 学校は、身だしなみを整えることや、時間を守ることなど、けじめのある生活について適切に指導を行っている。	H29	80%	2%	
	H30	82%		
15 学校は、積極的にオレンジキャンペーン(いじめ撲滅運動)に取り組んでいる。	H29	72%	8%	
	H30	80%		
16 学校では、学習規律が保たれている。	H29	72%	9%	
	H30	81%		
17 教室や廊下などに、生徒に必要な情報や生徒の作品など、見やすい形で掲示されている。	H29	80%	-2%	
	H30	78%		
18 校舎内は整理整頓されていて、清潔な状態に保たれている。	H29	78%	2%	
	H30	80%		
19 学校のホームページは学校の様子がよくわかり、更新も適切に行われている。	H29	52%	6%	
	H30	58%		

男子バスケットボール部 豆野 祐斗くん(2年4組)

僕たち男子バスケットボール部での目標は、「ベスト16」です。初心者が多いチームですが、夏から新チームとして、この目標に向かい、日々練習に取り組んでいます。もちろん、勝ち負けも大切ですが、まず挨拶や返事などの礼儀を大切にしています。新人戦で良い結果がでるよう、全力を尽くしたいと思います。

女子バスケットボール部 遠藤 颯来さん(2年7組)

私たちの部活では、チームワークとコート内・外、関係ないやる気のある姿勢を心掛けています。バスケットボールは個人競技ではないので、チームの誰かが抜けてたら意味がありません。また、どんな人が見ても応援されるような雰囲気づくりが大事だと思っています。これらを土台にして、これからも全員で頑張ります。

野球部 豊種 竜一くん(2年5組)

野球部の目標は県大会優勝です。今年の総合体育大会では県大会まであと1歩のところまで負けてしまい、とても悔しい思いをしました。その気持ちを胸に日々練習に励んでいます。そして、毎日指導くださっている先生方や1年間だけでしたが色々なことを教えてくださった大嶋先生、一緒にプレーして楽しく頼りになった先輩方のためにも恩返しをしたいです。

ソフトボール部 松岡 莉緒さん(2年7組)

私達ソフトボール部は「県大会優勝」という目標を立て活動しています。私達は人数が多いため、毎試合スタメン争いがあり、日々努力し成長しています。まずは新人戦で人数の多さを活かし、声とパワーではどのチームにも負けないように頑張ります。そのために、キャプテンとしてチームを引っ張っていきたいです。

男子バレーボール部 阪上 大空くん(2年4組)

僕たち男子バレーボール部は、「県大会出場！」という目標を掲げています。そのためには、まずみんなが仲良く粘り強く、そして最後まで戦うチームになりたいと思います。体育館が使える日は少ないですが、廊下でも一本一本を大切に練習していきます。まずは、新人戦で県大会出場を狙って、頑張ります。

女子バレーボール部 大丸 菜月さん(2年6組)

私たち女子バレーボール部では、前からずっと受け継がれてきた「礼儀」を一番に考え活動していきたいと思っています。また、仲間が上げてくれたボールを最後まで追うことを意識して勝利へつなげていきたいです。いままで、そしてこれから支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々活動していきたいです。

吹奏楽部 中島 理々子さん(2年1組)

私たち吹奏楽部は、一つの目標に向かって全員で同じ思いを持って頑張っていきたい！という意味が込められた「ひまわり」という目標を立て、その目標を達成できるように日々練習に励んでいます。普段から挨拶や行動の一つ一つを大切に、私たちの理想の音をつくっていきたくと思っています。そのために、部員を引っ張っていけるようなお手本となれる部長になりたいと思います。私たちの応援よろしくをお願いします。

合唱部 松尾 歩武くん(2年5組)

僕たち合唱部は「全音魅了」を目標に、先輩・後輩・男女関係なく、仲よく日々練習に励んでいます。基本的な挨拶や返事、メリハリを一から見直し、一人一人の意識を高めています。また、全員の意見を大切に、全員で成長できるように1月のコンクールに向けて努力します！まだまだ未熟な僕たちですが、応援よろしくをお願いします。

市川市中学生海外派遣事業報告(ドイツ バイエルン州 ローゼンハイム市)**2年2組 有山 航輝くん**

僕達2人は、7月21日から8月1日までの12日間、ヨーロッパ南西部、ドイツ連邦共和国のバイエルン州の南部のローゼンハイム市へ市川市青少年海外派遣事業の派遣生として行きました。ドイツで印象に残ったイベントは、現地での滞在でお世話になったホームステイ先のホストシスターや、そのホストフレンド達の通う学校で、日本の文化や習慣を説明したことです。ドイツでは、英語が第2言語なので、相手に内容が伝わるように英語でスピーチを考えなければなりません。事前研修は毎週土曜日に本八幡駅から徒歩6分の市川教育会館で行われました。主に現地で発表するにあたって必要な原稿やパワーポイントを作りました。特に原稿を書く作業が大変でした。前年度やその前の派遣生に、正しい文法や分かりやすい表現などを教えてもらいました。本番の当日はとても緊張していて、毎週練習していたのに自分が正しく英語を話しているか分からないくらいでした。それが終わった後は、発表の中で紹介した折り紙やけん玉、習字、輪ゴム鉄砲の射的などを実践形式で日本の昔遊びに触れてもらいました。特に、折り紙は現地の方々にとっても人気があり、何度も手裏剣や鶴、花などの折り方を教わりに来てくれる人が沢山いて、折り紙を教える側として、とてもやりがいを感じました。現地の学校の文化祭の他にもドイツの方達と交流する場がいくつもありました。この経験は一生忘れることなく、将来自分が海外の仕事に携わる際に、この派遣事業で得た知識や経験を活かしたいです。

**2年5組 衣川 柚輝くん**

私は7月21日～8月1日まで、市川市青少年海外派遣事業の派遣生として、市川市の生徒16名、引率者3名の計19名でドイツへ派遣されました。事前研修の最初のころは、みんな緊張していましたが、回数を重ねるにつれて、少しずつ慣れていき、親しくなっていました。出発日の羽田空港では、みんな楽しみな気持ちでいっぱいでした。

今回の海外派遣で学んだ事は、3つあります。

一つ目は、ドイツ語でのコミュニケーション、基本的なドイツ語でのあいさつの方法、数字や単語などを学んだことです。

二つ目は、言葉の通じない場所で日本人が一人で生活するという経験です。この経験から言葉は生きていく上でとても大切なものだと思います。私も英語でコミュニケーションをとり、ドイツの文化を学びました。

三つ目は、事前研修の時、まったく関わったことのない人と協力して、パワーポイントの作成など、友だちと協力して物事を行うことの大切さです。

今回の海外派遣は、自分の人生を変えるものと言ってもいいほど、たくさんの思い出ができました。将来就く仕事が変わったり、外国への関心が高まると思います。今回の海外派遣で学んだ事を今後の生活に生かしていければいいなと思います。